

保険証がマイナンバーカードと一体化され、2024年秋 廃止に

保険証の交付存続を求めます!

政府はマイナンバーカードに保険証機能を持たせ、2024年秋に現在使用している保険証の交付を廃止する方針です。

全建総連は1970年8月の建設国保の設立以降、50年以上も仲間の命と健康を守る砦として、建設国保を守り育ててきました。病気やケガで長期療養をやむなくした際、安心して暮らせる制度として運営を進め、特定健診・特定保健指導や建設産業特有の呼吸器系疾患対策と職業病認定を進めるなど、保険者機能を発揮してきました。建設国保が長年に渡り、対面で行っている保険証交付会が保険者機能を高める大きな役割を果たしています。

保険証が無くなると、対面による保険証交付で築いた仲間とのつながりが失われ、帰属意識、保険者機能の低下を招きます!

保険証の交付が廃止されると、対面の保険証交付会で築いた仲間とのつながりや帰属意識、保健事業の周知や滞納対策などの保険者機能が損なわれ、貴重な機会を失うことになります。

さらに、保険者を確認できる保険証が無いと帰属意識の低下と相まって、自分がどこの保険に加入しているかわからなくなり、混乱が起きる懸念があります。



マイナンバーカードだけになると保険者への届出忘れや医療機関の受診で混乱が懸念されます!

保険証機能を持つマイナンバーカードになっても、住所等の変更や資格喪失などの保険者への届出は従来どおり必要です。しかし、保険者を確認できる保険証が無くなると届出忘れが起き、保険者や医療機関の受診に際して混乱が起きる懸念があります。

保険証廃止は建設国保・母体組合の機能を損ねる組織的な問題

国保組合の育成・強化、保険証の交付存続にご協力をお願いします



 **全国建設労働組合総連合(全建総連)**

〒169-8650 東京都新宿区高田馬場2-7-15
TEL03-3200-6221 FAX03-3209-0538
URL <http://www.zenkensoren.org/>

取扱組合